2019 年度第回２役員会議事概要

日時　2019 年 5 月 15 日（水）　19：00～21：50
場所）アステップむろまち
出席）泉　金井　斉藤　下村　竹林　知名　西村　平山　服田　松本　　欠席）大石　宮崎
司会）　平山　　書記）斉藤

１）事業

報告

〇京都精神保健福祉士協会・日本精神保健福祉士協会京都府支部　協力研修
テーマ「共生社会における自己責任論を考える―ギャンブル依存の本人や家族の支援を通して-」
講師　滝口直子氏（大谷大学）
日時　2019 年 4 月 26 日　19：00～21：00　　会場　キャンパスプラザ京都

例えばパチンコに月 3 万円を費やすといったとき、生活保護の方は生活が破綻するかもしれない。所得が 1000 万円以上ある方であれば特に何の問題にもならない。収入のないひきこもりの方であれば「浪費」と称される…というように、その人のおかれた経済状況の脆弱性によって同じ行為をしていても結果や社会の目が異なるとの指摘がなされた。またギャンブラーは産業にとってのお得意様でありうまくハマるような仕組みが作られていること、本来産業がその気になれば害を出さない対策が実行可能であり他国でのそのような例もあることを紹介された。共生社会をテーマとしていたが、実際の講演はテーマに関する内容がコンパクトで大半が回復への支援についての内容であったため、テーマと少しずれが生じてしまった。

〇2019 年ソーシャルワーカーデイイベント
開催日　7 月 15 日（月）　10：30～17：00
会場　寺町広場（ゼスト御池）
→前年と同じような形で出来ればと検討している

予定

〇2019 年度総会・記念講演会
日時　5 月 26 日（日）　総会　10：30～12：30　　記念講演会　14：00～16：00
会場　ハートピア京都　3 階大会議室
記念講演会
テーマ「ピアサポートについて私たちが学ぶべきこと」
講師　相川　章子　氏（聖学院大学　心理福祉学部教授）

２）対外関係

報告

〇障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会　担当　斉藤　→欠席
日時　４月 23 日　13：30～16:30　　場所　京都市多文化交流ネットワークセンター　大ホール
予定する議題
◆障害者の就労、雇用について◆各部会報告(権利擁護・女性・インクルーシブ教育)
◆出席団体様よりお知らせなど◆その他

〇2019 年度　福祉職場就職フェア実行委員会　担当　事務局→欠席
第 1 回実行委員会

日時　4 月 24 日　10：00～11：30　場所　ハートピア京都　第 5 会議室

〇第２回リカバリー・パレード「回復の祭典」in 京都　後援名義使用依頼→承認
日時　5 月 19 日(日)　フォーラム 14:00～15:00
会場　カトリック河原町教会（住所：京都市中央区河原町三条上がる下丸屋町 423）
主催　リカバリー・パレード関西実行委員会

〇「相模原殺傷事件、あれから 3 年」第 3 回実行委員会　　参加　服田
日時　4 月 13 日(土)　会場　福祉ひろば
内容）映画「夜明け前」上映　と　トークリレー的なもの。（精神保健福祉士の登壇も求められている）
開催予定
日時　7 月 26 日　　時間未定会場　龍谷大学　響都ホール（予定）

予定
なし

3）各部委員会より報告等

□研修部
日時　4 月 18 日
内容）今年度の研修計画について検討した。
①成年後見について⇒6 月予定　②病院見学会⇒9 月ごろ予定　③二府四県合同研修⇒11/3 予定
④就労支援について⇒2 月ごろ予定

→成年後見　本人情報シートについて　7 月になる予定

※二府四県合同研修について
滋賀との連携のあり方が課題となっている。午前シンポジウム、午後分科会という今までの流れを継承する。
次回に内容を詰めていく予定滋賀と京都で　主担当・副担当とわけることを検討中

次回　6 月 6 日

□通信情報部
きょうと通信委員会
次号 134 号は総会後のため、原稿締め切りが 6 月 5 日。
総会議事、ソーシャルワークデイ報告、3 月例会報告（630 調査）、京都支部との協力研修報告、トピックス（要望書の報告）などを予定。

HP 委員会

特になし

□権利擁護委員会

活動なし。委員 2 名が辞退された。

□障害者福祉制度委員会

活動なし

□倫理について考える委員会
日時　4 月 23 日
内容）
1．『精神保健福祉士の実践知に学ぶ　ソーシャルワーク 1-ソーシャルワークプロセスにおける思考過程「第 3 節　思い出を共に回想し、明日への希望を呼び覚ます」』を読み、倫理的視点を踏まえながら考えた。

事例を通してソーシャルワークプロセスについて考えた。

（次回）6 月 18 日（火）19:00- 会場 安東医院

次回は、①倫理について考える委員会発足前の歴史から改めて本委員会の意義を考える。②. 精神保健福祉士の実践知に学ぶソーシャルワーク 1-ソーシャルワークプロセスにおける思考過程 別事例を深める

□ソーシャルワーカー育成検討委員会

第 1 回つどいをおこなう。テーマはまだ検討が必要で、公報は一旦テーマを抜いて、後日お伝えする。

□心神喪失者等医療観察法学習会

4 月開催

□京都府支部担当

4 月 17 日支部運営会議を開催した。 議題）支部長会議の報告、協力研修の話し合い、総会について

□災害支援検討委員会

活動なし

□事務局

入会審査

1）メール審査、3 名を 4 月 20 日付承認

2）本日 1 名承認

退会審査

2 名承認

4 月 20 日現在 330 名→5 月 15 日現在 329 名

議決権は 328 名（4/20 承認まで）

※入退会についての訂正

4 月 10 日役員会にて規約 7 条対象として退会とした 1 名について、実際は 2019 年 3 月 12 日付で会費の納付があり審査の根拠がなかった。（当人には電話にて謝罪しました。）よって、3 月 31 日現在の会員数が 323 名から 324 名に訂正。4 月 20 日現在の会員数（議決権保有）330 名となります。

□会計

京都府支部の監査終了。特に意見もなかった。日本協会へは総会終了後、請求を行う。

支出費目別一覧・会計入力を外注をできないかと考えている。

支出伝票の内容を、支出者が入力を行う方法を検討して欲しい。

伝票を細分化しているのは、一つの事業について協会研修費からと支部活動協力費からそれぞれ支出をする場合等に備えるためである。

4）そのた検討事項

対外関係

〇医療観察法に基づく参与員候補者推薦依頼（京都府健康福祉部渉外支援課）

2019 年 5 月 31 日回答締切

以前は京都協会と京都府支部両方に所属している方を推薦したことはある。関与したいとする方がいるかもしれないので、会員へ案内をして希望者は事務局に連絡をしてもらうことする。

事業・各部より

〇総会・記念講演準備について

1)総会 議長、書記、運営委員の依頼

議長 ・書記 2 名・総会運営委員 5 名 受付 4名を依頼している

2)記念講演会について

当事者からの話しは、ひと組 10～15 分ぐらいを予定している。講演終了まで残ってもらう。謝礼は 5000 円／人を予定していた。一コマは二人一組で担うことになり、交通費込みだが、二人一組の発表者には各 3000 円、一人での発表は5000円の謝礼をすることでよいか。→了承

その他

（前回からの継続）

〇精神障害者旅客運賃割引のための要望書について

→進捗等は次回に保留

次回役員会　　総会後に決定する